

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	光亜興産株式会社 本社新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府門真市末広町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年7月13日
敷地面積	673㎡	作成者	(株)日建設計
建築面積	527㎡	確認日	2021年7月13日
延床面積	2,007㎡	確認者	(株)日建設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 4.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	計画建物北側のサン・ジョゼ広場の木々や古川橋駅から続く街の色に調和するようにファサードに立体的に取り込んだ外観とし、街なみや人々に対して開かれたオフィスを計画している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
執務室の照明制御について、ライン照明とスポットライト照明を交錯させることで明るさや照明位置を制御し、多様な利用に対応できる照明計画としている。	各階の公園側にミニキッチンであるリフレッシュカウンター・ミーティングスペースを設けることで、職員の憩いの場、コミュニケーションの場となる計画としている。また、天井高が高く感じられ開放的な	公園から4Fテラスまで屋外階段と緑化が立体的に連続することにより、環境の保全に寄与するほか、古川橋駅から続く緑道に調和する景観への配慮した。また、1階北側外構には小上がりを設けることで公園に開かれた計画と
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.67, BEI=0.90の性能を確保しており、建築物エネルギー消費性能基準に適合している。	主要構造が鉄骨造のため各所の壁が乾式にて計画している。また、設備シャフトなどのバックスペースと執務室のスペースが明確に区分された設計しており、将来の改修・更新が容易な計画としている。	建物外部に、じゃこプランター、植栽帯、木々を計画し、CO <sub>2</sub> 削減による地球温暖化緩和、ヒートアイランド現象緩和などが期待でき、地域環境に配慮する計画としている。また、日照について、特に敷地東側の隣地建物に配慮したボリューム構成としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-変-0015

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	光亜興産株式会社 本社新築工事						
	建設地	大阪府門真市末広町						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.6	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		